



RI 会長テーマ

2022～2023年度
大船渡西ロータリークラブ会報
七福人

会長 古内 一二

副会長 山口 徹

幹事 今野 義也



=会長指針=

お互いを理解しあおう

・・・ 例会記録 ・・・

3月第5週例会 2023年 3月30日(木)

ソング : 奉仕の理想 ボックス : 26,000円 (報告者 新沼達央会員)

お客様紹介 : 熊谷雅也会員ご息女 熊谷幸子様

本日出席率 : 69.44% 前回修正後 58.33% (マーカップ 0名) (報告者 紀室綾子会員)

★ 会長の時間 : 古内一二会長



日本の商人の理念を表わす言葉としては以前会長の時間でも話しましたが、近江商人の「三方よし」(売り手よし。買い手よし、世間よし)が有ります。

これと並んで、日本の商人道をよく著したものに、石田梅岩の「都鄙問答」が有ります、今日はこの、石田梅岩について話したいと思います。

松下幸之助や稻盛和夫や日本を代表する経営者も石田梅岩に多くを学び、多くの書籍を残しています。石田梅岩の活躍した時代は、今から300年も前の江戸時代で8代将軍徳川吉宗が君臨していた時代です。そのころ商人は

士農工商の身分制度の中で最も低い身分でした。そんな時代背景の中、石田梅岩は、商業の正当性を主張し、商人にプライドを持たせ、商いを「商人道」として哲学にまで押し上げ、後の商人の身分の向上に大きく貢献しました。

彼の教えは「石門心学」と呼ばれ多くの国民に継承され日本社会の経済発展に大きな影響を与えてきました。その中の「都鄙問答」の一文を紹介しますと「商人が儲けるのは、社会に貢献した報酬であり、これは武士がもらう俸禄と同じで、売買の利益がないということは、武士に給料がないと同じである。商人が存在しなければ、社会全体が成り立たないばかりか、国家が滅びる」とまで断言しました。又商人は社会を担う重要な立場にあり儒教の「仁義礼智信」を常に心がけ、商売を実施すれば必然的に商売は繁盛し、日本社会も良くなるとし、道徳と経済の両立を説きました。後にこの思想は、明治初期 日本資本主義の父渋沢栄一に受け継がれて行きますが、戦後の日本に於いても、世界的な経済発展を成し遂げる礎にもなりました。今、世界ではウクライナ紛争をはじめ多くの民族紛争があります、企業の不祥事もいまだに減りません。デジタル社会の現在、商売も大きな変換期をむかへています。対面販売が希薄な今こそ、我々は300年前の石田梅岩の商人道を改めて考える時ではないでしょうか。

◆◆◆ 幹事報告 ◆◆◆

1 ガバナー事務所より

- RLI研修パートIII開催案内が届いています。

日 時 5月13日(土) 9時～16時10分 場 所 岩手県民情報交流センター

登録料 テキスト・昼食代込み 3,000円 締め切 4月20日

- ロータリー財団年次寄付ご支援・ご協力のお願いが届いています。

会員1人当たり150ドルを目標にご協力くださいとの事。

賛助会員 年間 1口3,000円 記念館事業資金

春季例祭 日時 4月22日(土) 14時~ 場所 米山梅吉記念館ホール

登録無料

◆◆◆ 本日のプログラム ◆◆◆

熊谷幸子様(熊谷雅也会員ご息女)講話



韓国留学について

1. 留学したきっかけ

小学生の頃ロータリーを通じて韓国人の女子高生(第1回の交換留学生のヒヨニム)が自宅に1週間ほどホームステイをした。その時に流暢ではないが日本語を理解してコミュニケーションをとっている姿が印象に残り、学ぶ姿に感心し尊敬した。その当時の将来の夢は韓国語の通訳だった。当時勉強する方法もわからず、理系の私は自然とその夢から遠ざかる。

コロナ禍で自宅にいることが多くなった時、韓国ドラマやK-popが流行る。世界がコロナで時間が止まる中、デジタルコンテンツでどんどん世界に出ていく韓国の姿勢に強さを感じ、再び興味を持つ。そのうち自分の解釈で韓国語を理解したくて勉強を始める。

2. 韓国(ソウル)でどんな生活を送ったか

学校生活→ヨンセ大学(日本でいう慶應)の付属の語学堂に通う。

基本午前授業。午後は宿題やクラスメイトとご飯を食べたり遊んだり。1から6級まであり、6級まで行くと現地での仕事も問題ない程度。自分は1から3級まで学んだ。日常会話は問題ない程度。

休みの日→クラスメイトや日本人の友達と遊ぶことが多かった。よく行ったのはカフェと美術館。

韓国はアート市場がアジア最大とも言われている。

3. 大変だったこと

韓国人の友人を作るのが1番大変だった。韓国人は他人に対して興味を持たない人が多く、紹介とかじゃないとなかなか心を開いてくれない。最初は日本語を話せる年が近い子を紹介してもらう。その後は自分で行きつけのカフェを作り、顔を覚えてもらう。だんだん仲良くなり帰り際には泣いてもらえるくらい仲良くなった。

4. 韓国人(外国人)からみた日本人

好感を持って接してくれる人が多い。

韓国人は反日の人が多いイメージを持たれるが、実際はあまりいない。特に若い世代は日本の若者と同じく日本の文化に興味を持っている人が多い。

優しい印象を持ってくれていることが多いが、日本人は強くものを言えないこともわかっているから旅行客はぼったくられることもよくある。

5. 自分から見た韓国

生活は日本と似ている。ご飯(食事)を大事にする文化。挨拶がわりに「ご飯食べたか?」と聞く。伝統を守る意識が強い。(伝統市場を守るために大手スーパーの定休日を設けた)

助け合い、思いやりのある行動をしてくれる。基本みんな優しいが友人や近い関係になるのは難しい。

IAC 顧問教諭 和賀真美先生から頂いたご挨拶文



いつもお世話になっております。

先日はお忙しい中、古内会長と高木新世代委員長が学校に来てくださり、素敵なお花を頂戴しました。大船渡東高校は9年となり、このたび水沢農業高校に異動となりました。私にとってインタークトクラブは農業高校時代の年次大会やクリスマス会など楽しい思い出があり、本当に寂しく思います。生徒とともに沢山の経験を積ませていただきました。

インタークト部員は毎年、ロータリークラブの皆様や地域の方との交流によって成長させていただいております。数年間、コロナ禍で活動が多く制限されており、インタークトの定例会を見たこともなく、不慣れな事も多くあると思いますが、自分たちにできるボランティア活動をしたいメンバーが集まっています。今後もご支援をよろしくお願ひいたします。

今まで、ありがとうございました。